

平成 26 年 12 月 29 日

独立行政法人日本スポーツ振興センター
理事長 河野一郎様

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会

共同代表:大橋智子・大橋智子建築事務所

上村千寿子・景観と住環境を考える全国ネットワーク

酒井美和子・デザイナー、まちまち net

清水伸子・一般社団法人グローバルコーディネーター

多田君枝・「コンフォルト」編集長

多見貞子・たてもの応援団

日置圭子・地域文化企画コーディネーター・粋まち代表

森 桜・アートコーディネーター・森オフィス代表

森まゆみ・作家・谷根千工房

山本玲子・全国町並み保存連盟

吉見千晶・住宅遺産トラスト

e-mail info@2020-tokyo.sakura.ne.jp FAX 03-6380-8812

国立競技場の北工区、南工区ともによろやく解体業者が決まったと聞きました。
3万5000人超の国民が賛同者になっている当会の疑問に解体前にお答え下さい。

- 1、北工区の解体業者は、前回決まって官製談合の疑いありということで下村文科相が「警察に通報した」と国会で答弁した関東建設興業です。この官製談合疑惑については疑いが完全に晴れたのでしょうか？国民は何ら説明を受けていません。経過を詳しくご説明下さい。
- 2、南工区の解体業者に選定されたのはフジムラです。フジムラは関東建設興業とJSCとの間に官製疑惑ありと告発した業者です。北工区の入札に参加したことはフジムラは、官製談合疑惑がないと納得したのでしょうか？巷では何らかの手打ちが行なわれたのではないかと、といわれていますが、その点もご説明下さい。
- 3、また、国立競技場は大変堅牢に作られているため、7000本もの深い杭が打たれています。これをすべて除去するなどの難工事にこの金額でできるのでしょうか？解体工事費の

内訳をお示し下さい。また専門家によると杭の引き抜きだけで70億円かかると言われています。解体工費費が32億円を超過した場合、超過分をどのように補填し、誰が責任を取るのか、具体的にお示し下さい。

また引き抜いた杭等の解体廃棄物をどこに持っていくのか、処分費にいくらかかるのか、費用をどこから捻出するのかも、合わせてご説明下さい。

4、2014年9月25日に公開で行なわれた自民党無駄撲滅チームで論議され、河野太郎議員が調査の上回答が必要と述べたことにつき、議員一人に口頭で説明するだけでなく、ステークホルダーでもある当会にも回答してください。文書があるなら公開をお願いします。

5、もし、現行案で建設が進み、1625億円より工事費が増えた場合、維持費が35億円より増えた場合、収益が伴わず赤字を出した場合、JSCはどのようにして補填するのか、誰が責任を取るのかを明確にお示し下さい。

以上、解体されてからでは遅いので、解体に着手するまえ1月16日までにご回答下さい。

最後に、これだけの反論・異論があり、現行案をすばらしいといって支持する国民がほとんどいないいま、新国立競技場建設を強行するのは政府と国民に深い亀裂と不信を残します。そのほうがワールドカップやオリンピックに間に合わないことよりどれだけ深刻であるか、わかりません。東北の被災者がまだ多く、仮設住宅で冬を迎えている今日、金食い虫の巨大スタジアムは建設を慎むのが民主国家としてあるべき姿だと思います。

ご回答返信先: 170-0013 東京都豊島区東池袋 5-35-5 多児方
神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会